

○ 今回登録の物件概要

1 名称 (種別)	とちがはらじ だいいちごうしゅうすいせい 栃ケ原地すべり第一号集水井 (土木構造物・治山治水)
2 建築年代	昭和30年
3 所在地	柏崎市高柳町栃ケ原字大杉2668-5
4 登録基準	(二) 造形の規範となっているもの
5 概要	柏崎市南東の丘陵地に位置する。外径4.0m、深さ18mの鉄筋コンクリート造の円筒型井戸で、壁面から放射状に配した横ボーリングにより、地すべりの原因となる地下水を井戸に集水し排除する。設計担当は新潟県技師湊元光春。地域の防災と景観の保全に貢献し、各地の集水井の基本となった、わが国初の集水井。

1 名称 (種別)	とちがはらじ だいに ごとうしゅうすいせい 栃ケ原地すべり第二号集水井 (土木構造物・治山治水)
2 建築年代	昭和40年
3 所在地	柏崎市高柳町栃ケ原字小林1759-2
4 登録基準	(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
5 概要	栃ケ原地すべり第一号集水井より300m北北西に位置する。外径4.0m、深さ15mの鉄筋コンクリート造の円筒型井戸。集水した地下水を揚水し、周囲の水田で利用する。国土保全と農業水利の二つの機能を兼ね備え、地域の営みを支える戦後土木施設。

1 名称 (種別)	とちがはらじ だいさんごうしゅうすいせい 栃ケ原地すべり第三号集水井 (土木構造物・治山治水)
2 建築年代	昭和40年
3 所在地	柏崎市高柳町栃ケ原字大杉2701-4及び字大杉2701-5
4 登録基準	(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
5 概要	栃ケ原地すべり第一号集水井より100m南西に位置する。外径4.0m、深さ15mの鉄筋コンクリート造の円筒型井戸。第一号・第二号と同様に地すべりをもたらす深層地下水の上昇を防ぐ。古くから地すべり被害に苦しんできた地域で開発された集水井の初期の事例。

栃ヶ原地すべり第一号集水井（柏崎市）



【栃ヶ原地すべり第一号集水井 全景（南側より） 新潟県撮影】

栃ヶ原地すべり第二号集水井（柏崎市）



【栃ヶ原地すべり第二号集水井 全景（南側より） 新潟県撮影】



栃ヶ原地すべり第三号集水井（柏崎市）



【栃ヶ原地すべり第三号集水井 全景（北側より） 新潟県撮影】

**【参考】**

○ 登録有形文化財登録基準

平成8年8月30日 文部省告示第152号  
改正 平成17年3月28日 文部科学省告示第44号

**【建造物の部】**

建築物、土木構造物及びその他の工作物（重要文化財及び文化財保護法第182条第2項に規定する指定を地方公共団体が行っているものを除く。）のうち、原則として建設後50年を経過し、かつ、次の各号の一に該当するもの

- (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- (二) 造形の規範となっているもの
- (三) 再現することが容易でないもの